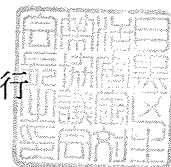


平成 29 年 9 月 27 日

目 黒 区 長  
青 木 英 二 様

目黒区生活安全対策協議会  
会長 朝 倉 和 行



## 提 言

平成 28 年中の区内の刑法犯認知件数は、今から 10 年前の平成 19 年と比較すると約 38% 減少していますが、区民の体感治安は未だ満足できる状況には至っていません。

また、区の安全・安心対策が一定の効果を上げていることは認められますが、今般は特殊詐欺が増加しており、その被害防止対策は喫緊の課題です。

生活安全対策協議会は、今後とも区民生活の一層の安全と安心を確保するため、区が取り組むべき対策として下記のとおり提言します。

### 記

#### ○ 更なる特殊詐欺被害防止対策の推進

現下、特殊詐欺被害が多発している状況を踏まえ、区は、これまでの特殊詐欺被害防止対策について、更に質を高め、更に強力に推し進めていく必要があります。被害防止には「犯人からの電話に出ないための対策」が極めて有効であることから、自動着信拒否装置などの普及促進により、物理的に犯人からの電話を受け付けない環境づくりに注力すべきです。

また、区民が特殊詐欺被害を「我がこと」として、一層認識を深めるような啓発を目指して、従来の被害防止啓発活動を継続実施することに加え、民間事業者の協力の下に行われる被害防止啓発の取組みを活性化させるなど、支援の輪を広げ、新たな視点から、幅広く、きめ細やかな被害防止啓発活動がより強力に展開されることを要望します。

以 上